

第 16 回情報システム学会 全国大会・研究発表大会 開催報告

オンライン大会実行委員長 池辺正典（文教大学）

第 16 回情報システム学会全国大会・研究発表大会を 2020 年 12 月 5 日（土）～12 月 11 日（金）で開催致しました。今年度はコロナ禍の影響によりオンラインでの大会実施となりましたが、109 名と多くの方に参加頂きました。

本大会は「オンラインとオフライン融合時代の社会と人間中心の情報システム - ニューノーマルにむけて」をテーマとして、一般セッション 22 件と学生セッション 31 件の合計 53 件の研究発表が行われました。今年度の研究発表はオンデマンド型での発表形式として映像による発表が行われましたので、開催期間は 7 日間となりました。また、12 月 5 日にはオンラインの基調講演として、慶應義塾大学法科大学院の山本龍彦先生より「日本の個人情報保護法制の現在・未来 - 憲法と比較法の視点から」と慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科の大前学先生より「自動運転車のための協調運転・遠隔運転の研究の取り組みの紹介」の 2 件を講演頂きました。その後、浦昭二記念賞の論文賞として同志社大学大学院理工学研究科の井田明男、金田重郎、森本悠介氏の論文「エンティティの存在従属分析のためのドメイン特化言語」が表彰されました。また、株式会社プライド社に「確かな原理に基づく情報システム開発方法の提供と先導による、個人、組織及び社会への貢献」として実践賞を授与しました。

今年度は初のオンラインでの大会実施ということで例年と異なる手順等も多く至らない点多々あったかと思いますが、大会関係者、参加者、後援、協賛頂いた企業、団体様のご協力により、滞りなく開催できましたことに感謝申し上げます。